

事業計画書

事業名	「岩村田商店街が取り組む 新たな子どもの居場所づくり」事業
実施箇所	岩村田商店街、佐久市子ども未来館
実施期間	事業開始予定年月日 30年 7 月 1日
	事業終了予定年月日 31年 2 月 23日
<p><事業の目的及び達成目標> 平成29年度に開始した、本事業の2年目として、29年度の事業内容を検証した上で30年度は下記の方向性で実施したい。</p> <p>①商店街が提供する「食の支援」はどのような形が望ましいか、をいろいろな形態で実践することによって検証する。</p> <p>②求められている「お母さん」のたまり場として適切な運営形態を求めて、さまざまな形態でトライアルし、検証する。</p> <p>③「子どもの学び」を多様化させることでいろいろな子どもの居場所を実践し「学ぶ楽しみ」を実感できる場を実践し、検証する。</p>	
<p><事業の内容></p> <p>①食の支援として 「こどもの食堂！」 実施予定日： 8月 25日 (土)、11月24日 (土) 1月19日 (土) 時間： 10:00～13:00 対象：小学生とその保護者 場所：こてさんね、岩村田商店街各店 定員：40名</p> <p>主役は子ども。このイベントでは、子どもが大人のために、食事を作り、それを大人に食べてもらう。指導はプロによる、簡単レシピで本格的な料理を作る。大人はこどもに参加費を払う。子どもは食事を提供した対価(販売額によって変動)を受け取り、岩村田商店街で買物に出かける。商店街の各商店は、子どもが買物できるような商品を用意して対応する。</p> <p>この事業は昨年から続く「子ども食堂」を継続して運営できるようにするための事業であり、プロの指導者を招いているのは、運営を担当できる次の人材の育成の意味をこめているため。今回は参加者となる保護者が、ゆくゆくは事業継承者となる可能性も高く、その人材育成をも兼ねている。そのために、食事提供の手順やノウハウを専門家から学び取ってもらうという意図も含んだ事業である。</p> <p>②「子育てママ・パパのダベリングカフェ」 第1回 これからのママ・パパのダベリング 8月25日 午後1時～3時</p>	

・こどもの脳とからだと心を育てる一汁三菜
～胎児から思春期に大切な食事とは～

第2回 現役ママ・パパのダベリング 11月24日 午後1時
～3時

～誰もが迎える更年期。女性にも男性にも更年期はあるんです～
これから更年期がやってくるであろう方。更年期真っ只中の方。楽しく
更年期
を過ごせるように今から、今からでも遅くない、更年期対策をしません
か？

第3回 心とからだと脳にいいことだらけのベビーマッサージ
1月13日 午後1時～3時

～マッサージでこどもの心とからだの安定を～
1歳未満児を対象に、お母さん、お父さんがしてあげるベビーマッサージ

事業概要

③「子どもたちに学びの場」学び

第1弾・「なおやまん」プロデュースによる 「商店街エコエコおもしろ大作戦」

商店街の各お店から、いらなくなった廃材を集めて、自分たちならではの作品を作ります。廃材を生かすことでエコを考え、多感な子どもたちの創作意欲をかきたてます。なおやまんならではのプロデュースと「子ども未来館との連携事業」として実施します。

開催予定日 9月29日(土)

時間帯 午後1時30分～3時30分

場所：子ども未来館、岩村田商店街他

定員：30名

第2弾「感情認識型ロボットpepperを動かそう！大作戦」

pepper のアプリの仕組みを知って、自分たちで思うように pepper を動かしたり、しゃべらせたりします。佐久平総合技術高校の工業科の生徒の力も借りて行います。開催日は3日ですが、アプリ開発に参加した子どもたちは、期間中であれば自由に寺子屋塾に来てもらい、pepperに触れる環境をととのえます。(これもこどもの居場所づくりの一環として)

開催予定日11月24日(土) 12月1日(土) 12月8日(土) 時間帯
午後1時30分～3時30分 場所：寺子屋塾 定員：10名

第3弾 「支援の必要な子どものための基礎学力講座」

さまざまな意味で支援の必要な子どものための学習講座。不登校、ひきこもり、発達障害、病気療養などで長期欠席が続いた子どもなど、様々な意味で支援の必要な子どものための学習講座。独自の学習ソフトを用いて、個別の対処が可能です。飛び級学習もさかのぼり学習もできるシステムです。他人のペースを気にせず学習が進められます。ここでの狙いは、学習するきっかけをつくってあげること。納得する学習環境をつくってあげること、「自分もできる」ことを体感してもらい、次へのステップにつながることです。

開催予定日 11月～2月までの第二、第四土曜日(計8回) 時間：10時～12時 場所：岩村田寺子屋塾

<アピールポイント>

①においては、「食」とおして作ることの喜びと「商店街」の魅力を同時に感じてもらえることで、昨年以上の満足度をお上げることができる。

②の事業を実践することで、昨年から要望が出ている「潜在的な子育て世代」の親の支援につながる。

③商店街や子ども未来館をベースにすることで、様々なことに興味関心をもつ子どもの育成につなげる。また、いろいろな支援の必要な子どもの学習の場として、有効に機能できる。

年間計画	4月	
	5月	
	6月	
	7月	全事業募集告
	8月	25日第1回『子どもの食堂』『子育てママ・パパのダベリングカフェ』
	9月	29日「学びの支援」 第1弾・「なおやまん」プロデュースによる「商店街エコエコおもしろ大作戦」
	10月	
	11月	24日 第2回『子どもの食堂』『子育てママ・パパのダベリングカフェ』 「学びの支援」第2弾「感情認識型ロボットpepperを動かそう！大作戦」 10日、24日 「学びの支援」第3弾「基礎学力講座」
	12月	1日、8日第2弾「感情認識型ロボットpepperを動かそう！大作戦」 8日、22日 「学びの支援」第3弾「基礎学力講座」
	1月	13日 第3回『子どもの食堂』『子育てママ・パパのダベリングカフェ』 12日、26日 「学びの支援」第3弾「基礎学力講座」
	2月	9日、23日 「学びの支援」第3弾「基礎学力講座」
	3月	

<p>活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果 (事業の対象者・参加予定人数も記載)</p>	<p><「公益性」の視点> 子どもの居場所づくりを考える上で、子ども、親それぞれが求めるものが異なり、そのニーズを充足することで、「行ってみたい町」「住んでみたい町」の動機付けになる。 ①においては、「食」をとおして作ることの喜びと「商店街」の魅力を同時に感じてもらえることで、昨年以上の満足度をお上げることができる。 ②の事業を実践することで、昨年から要望が出ている「潜在的な子育て世代」の親の支援につながる。 ③商店街や子ども未来館をベースにすることで、様々なことに興味関心をもつ子どもの育成につなげる。また、いろいろな支援の必要な子どもの学習の場として、有効に機能できる。</p>
<p>活動を継続するための取組や考え方 (資金面、人材等)</p>	<p><「自立性」の視点> 今般の事業を計画的に実施する中で、子どもの居場所づくりを一緒に取り組んでみようとする個人や、グループや団体が増えることを期待している。 また、「佐久地域こども応援プラットフォーム」をはじめ、この地域で「子どもの居場所づくり」を実践する団体との連携を強化することにおいて、人材を拡充する。また、協力団体を増やすことや、商店街内の協力店舗を増やすことによって、資金的な負担の軽減を図れるスキームを構築していきたい。</p>
<p>翌年度以降の活動内容概要</p>	<p>実施三年目として、食の支援のあり方、学習支援のあり方、また、子育て中の母親・父親支援のあり方の集大成を確立したい。そのためには、現状の「こどもの実情」を長野県が29年度に実施した「子どもと子育て家庭の生活実態調査」から読み取れる佐久地域の実態を分析するという勉強会も実施しながら「本当に求められている支援はどのようなことなのか」もあわせて30年度に研究する。その成果と、これまで子育て支援に協力していただいた団体や個人、行政など、あらゆる社会資源を活用した、佐久らしい、「子ども居場所づくり」を実現することが本事業の目的である。それも、商店街らしい「子どもの居場所」を確立することで「岩村田の町に行けばいろいろと解決できる」と地域住民が感じ取れるような、持続可能な、地に足の着いた活動や、組織体を構成していきたい。</p>
<p>事業の最終目標</p>	<p>子ども、子育て中の親のための「居場所づくりの完成」その機能が岩村田という町の中にしっかり機能するから、「このまちに住みたい」といわれるような子育て支援の充実したまちを目指している。本事業はそれを実現するためのステップである。</p>